



越知町立越知中学校
校長室便り NO.5
令和6年9月2日
文責：須内

さあ、2学期スタート！

2学期がスタートしました。パリ・オリンピック、パラリンピックに湧く、猛暑酷暑の夏休みでしたが、大きな事故やけがもなく2学期を迎えることができたことに感謝したいと思います。この夏を過ぎし一回り大きくなった生徒の皆さんが、今学期様々な場面で活躍することを期待しています。ぜひ新しい越知中の歴史を築いていってほしいと思います。

令和6年度全国学力・学習状況調査結果から～越知中学校の取組について(3年生で実施)～

全国学力学・習状況調査の結果が公表されました。新聞紙上に見える都道府県等の正答率を確認してみると、本校生徒の頑張りが見え、全国上位の県の数値を上回る結果を残すことができています。

【国語】 ○:成果 ●:課題

- 話し合いの話題や発言を踏まえ、自分の意見を書く
- 物語を書くために集め取捨選択した意図を説明したものと適切に選ぶ
- 短歌の表現技法を説明したものを適切に選ぶ
- 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものと適切なものを選択する
- 話し合いの中の発言について説明したものを適切に選択する(情報の取り扱い)
- 物語の文中の語句の位置を直した意図の説明を適切に選択する(言葉の特徴や使い方)

【数学】 ○:成果 ●:課題

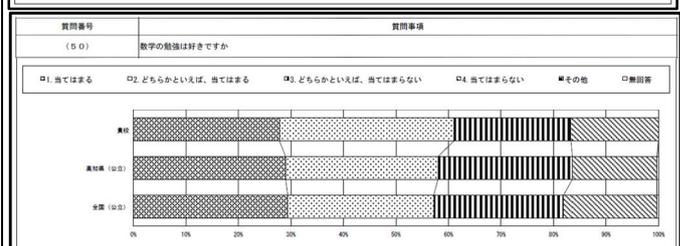
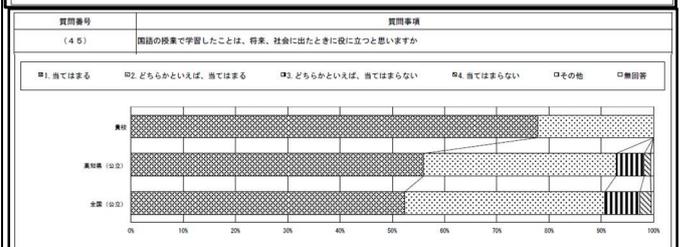
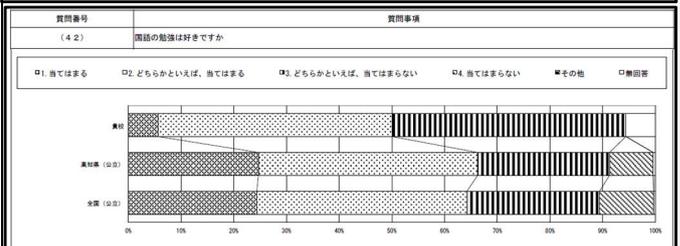
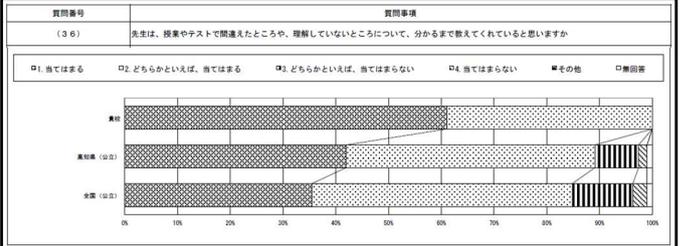
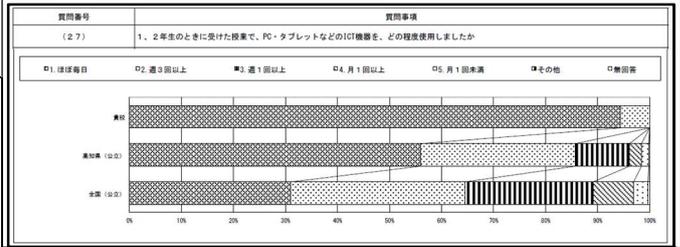
- 簡単な場合について、確率を求めることができる
- 複数のデータから四分位範囲を比較できる
- 問題場面から考察対象を捉え、正の数と負の数の加法の計算ができる
- 2つのグラフでy軸との交点について、解釈できる
- 筋道を立てて考え、証明することができる(図形)
- 角の大きさに着目観察し問題解決の過程等を振り返り新しい性質を発見することができる(図形)



- ①意見と根拠、事実と具体例等を読み分けたり結びつけたりする活動の拡充
- ②見直しや生徒間での相互確認の取組の強化
- ③小テスト・A Iドリル等を活用した知識の定着強化
- ④学習用語の意味理解と確認を怠らず、問題や条件を読む力や説明する力を育成

以上を課題改善のため意識して取り組むようにしました。また、本日3年生には全国学力・学習状況調査結果の個票を、1～2年生には4月に行いました学力調査結果の個票を配布しております。これからの学習の改善に生かされるコメントやデータが掲載されておりますので、ご確認ください。

次にこの全国調査には生徒質問紙調査もあり、データがありますのでお示したいと思います。



以上お示しましたグラフは一部ではありますが、越知中学生はICT活用がなされていること、支援員スタッフを含めた教職員が生徒に丁寧に教えることができていることが分かります。また「教科が好きか」「教科の学びが将来役に立つか」という項目では、多少の差異はあるものの、学びが将来役に立つという認識をして多くの生徒が肯定的にとらえていることが分かります。もう一方で学力調査では正答率が高得点ではありましたが、教科の学びがあまり好きではないことが分かります。2学期がスタートしましたが、これらを踏まえて生徒の内的動機をより高め本物の学びが実現するよう取り組んで参ります。